




7 学年 数学 正の数, 負の数 (減法)

中学 1 年生の教科書、P 26 の減法について、 $(+5) - (+2)$ について考えましょう。

 $+ (+2) = (+5)$ となる  を求めるのが減法です。
これは、

 $= (+5) + (-2)$ の形 (加法) と同じ結果です。ということは加法にして計算できるのです。
したがって、

$$\begin{aligned} & (+5) - (+2) \\ & = (+5) + (-2) \\ & = +3 \end{aligned}$$


この $=$ は教科書位置と異なります。

教科書では、意味が同じであることを強調するため

$$\begin{aligned} & (+5) - (+2) = (+5) + (-2) \\ & = +3 \end{aligned}$$

注意

どちらも正しいですが

 の左の形にしましょう。

※ それでは、例題で説明します。減法の式は加法の式に直して計算しましょう。

(解説)

例題 ① $(+6) - (+8)$
 $= (+6) + (-8)$
 $= (+6) + (-8)$
 $= -2$

② $(-9) - (-5)$
 $= (-9) + (+5)$
 $= (-9) + (+5)$
 $= -4$

① を説明すると、引き算『 $-$ 』を足し算『 $+$ 』にします。

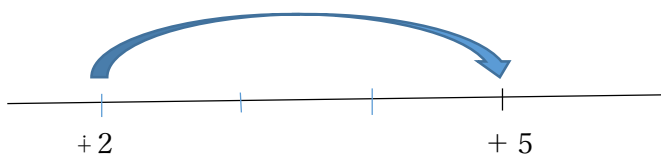
同時に、引く数 $(+8)$ を (-8) にして、加法に直して計算してください。

② も①と同じです。

おまけ

減法の式と数直線の考え方 (教科書以外の考え方)

$(+5) - (+2)$ は $(+2) \cdots$ 引く数を基準にして、引かれる数 $(+5)$ までを数えます。



右方向に 3 ですから $+3$ と考えられます。